

## 競技・その他注意事項

- ・ 本大会は、2022 年度日本陸上競技連盟競技規則及び、本記録会申し合わせ事項により実施する。
- ・ 陸協、又は各地区学生陸上競技連盟 2022 年度登録ナンバーカードを使用すること。
- ・ 9 時 20 分に代表者の方は必ず受付まで来ること。 打ち合わせ等がある。
- ・ 競技当日、各種目をやむなく棄権する場合は本部まで申し出ること。
- ・ 当日エントリーは受け付けない。
- ・ 対校戦は各種目において **両校 3 名まで**とする。
- ・ 対校得点に関しては、各種目において **両校の出場者数の合計によって変動する。**  
例) 体大 3 名 天理 1 名 合計 4 名の場合、1 位 4 点 2 位 3 点 3 位 2 点 4 位 1 点
- ・ ウォーム・アップについては競技に支障がないように注意して行うこと。
- ・ 各種目の招集時刻は以下の通りとする。 招集場所は現地集合とする。

	短距離	長距離	跳躍	投擲
場所	現地	現地	現地	現地
時間	10 分前	10 分前	15 分前	15 分前

\*注 1. 棒高跳、男子ハンマー投、男女やり投げは 30 分前とする。

\*注 2. リレーは 20 分前とし、全走者がゴール地点で行う。

- ・ 計時は、すべて電気計時 (1/100) で行う。  
ただし、判定装置に不具合が生じた場合は手動計時 (1/10 秒) で行うことがある。
- ・ トラック種目に関しては、現地コール時に腰ナンバーを配布する。
- ・ トラック種目の対校選手は **1 組目に編成**する。  
ただし、エントリー数によってオープン選手が 1 組目に入る場合がある。
- ・ リレーのオーダー用紙は招集時刻 1 時間前までに本部に提出すること。
- ・ **フィールド種目において、対校選手は無条件で 4 回目以降の試技を行える。**
- ・ **フィールド種目において、4 回目以降の試技は、対校選手を含む最大 8 名で実施する。**  
従って、4 回目以降の試技を行えるオープン選手の数は、**対校選手の数によって変動する。**

- ・ 投擲種目において、滑り止め（炭酸マグネシウム）は全員で使う物を用意する。共用にする為、投擲を行うたびに手指消毒を行うようにする。（消毒用の補助員を配置する）
- ・ 個人所有の投擲物を使用する場合は、招集時刻1時間前までに本部にて検定を受けること。
- ・ 投擲種目の練習は、投擲審判員の指示に従い競技開始前に競技場で行う。  
各種目とも原則2投までとする。
- ・ 記録は速報ページにて掲載する。
- ・ 参加者の競技中の発病、負傷に対して主催者は応急処置以外の責任を負わない。
- ・ 荷物は各個人で責任を持って管理し、盗難・紛失について主催者側は一切責任を負わない。
- ・ 競技開始時刻を運営上変更する場合がありますので、注意すること。
- ・ その他、不明な点は本部に問い合わせること。

天理大学 陸上競技部